

シンフォニー・ブランチコンサート Vol.1 関本昌平「ザ・ショパン」



新進気鋭の日本人ピアニストが出演する「旬の音楽家たち シンフォニー・ブランチコンサート」。第一回は、大阪が生んだショパニスト、関本昌平

充電期を経て、
深化を遂げた関本の音楽

2005年、20歳にしてショパン・コンクールで第4位に入賞した関本昌平。コンサートにも数多く出演し、注目を集めていたが、2009年に渡米する。

「違う環境に身を置く必要性を感じ、ニューヨークに渡りました。移民の多い町でしたので、さまざまな人を見るチャンスがあり、反対に自分をいろんな視点から見ることが出来る。見習うべき部分や自分が恵まれている

部分...それらを知れば、自分を変えられると感じました」

ニューヨーク市立大学に在籍した関本は、クラリネット奏者のチャールズ・ナイディックと運命的な出会いを果たす。

「楽譜の読み方、さらに学術的なものの大切さを知りました。モチベーションや興味を上げること、曲に対する理解をさらに深めることができるのです」

2年前の東京でのリサイタル、充電期を経た彼の演奏は、さらに深化を遂げていた。クールな立脚点を持ち、作曲家の心の奥底に深く分け入ってゆくような集中力がみなぎっている。

ザ・シンフォニー・ホール初登場は中学時代。そしてショパンのスペシャリストによる「オールショパンプログラム」

大阪育ちの関本は、これまでもザ・シンフォニー・ホールで何度か演奏している。しかし、リサイタルは今回が初めてのこと。しかも、ショパン・コンクール入賞者による「オール・ショパン・プログラム」だ。

「すべてショパン作品によるリサイタルは、コンクール後はやっていません。コンクールから来年で10年を迎えることもあり、もう一度ショパンと向き合っ

てみようと思いました」

前半のプログラムには、ショパン・コンクールでも演奏した《英雄ポロネーズ》や《スケルツォ 第2番》をはじめ、珠玉の名曲を織り交ぜた。《スケルツォ 第2番》は、関本が初めてザ・シンフォニー・ホールの舞台に立った時の、思い出の作品。後半には、《24のプレリュード》をたっぷり聴かせる。

「ショパンの小品は、日記のような音楽で、そこがショパンらしいと思います。ちよつと思いついたことを書きとめる...そのメモ書き的な感覚に、聴く人は魅せられるのではないでしょう。か。そよ風のような曲もあれば、子守歌のような曲もあり、最初からド・ラマティックな曲もある...聴いていると、いろんな風景が繰り広げられてゆきます。ショパンの音楽はとても奥深く、突き詰めていかなければなりません。けれど、初めて聴いた人でも好きになれる作曲家だと思います」

自らの使命...

活動の拠点をニューヨークから岐阜に移して1年あまり。生活環境も大きく変わった。現在、演奏活動のかたわらで大学などで教鞭をとっている。「音楽を目指している人に、子どもの頃からの感じていたことや自分の経験や伝えないで、と考えると、そして、私自身も常に勉強し続けてゆきます」

【ピアノ】関本昌平

ショパン：英雄ポロネーズ 変イ長調 op.53
小犬のワルツ 変ニ長調 op.64-1
ワルツ 第7番 嬰ハ短調 op.64-2
スケルツォ 第2番 変ロ短調 op.31
24のプレリュード(前奏曲集)全曲 op.28

2014. 11/20 (木) 11:00AM(12:30PM 終演予定)
2,000円(税込・全席指定) 7/18(金)優先 7/19(土)発売

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【お問い合わせ】
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 03-3944-1583
【主催】一般社団法人全日本ピアノ指導者協会/ザ・シンフォニー・ホール

シンフォニー・ブランチコンサート シリーズ開催予定



Vol.1 2014.11/20(木)
関本昌平
ショパン国際ピアノコンクール第4位/オランダ



Vol.2 2015.2/24(火)
後藤正孝
リスト国際ピアノコンクール優勝/オランダ



Vol.3 2015.5/11(月)
菊地裕介
マリア・カナルス国際音楽コンクール優勝/スペイン



Vol.4 2015.8/27(木)
阪田知樹
クライバーン国際コンクール最年少ファイナリスト/アメリカ



Vol.5 2015.11/10(火)
田村 響
ロン＝ティボー国際音楽コンクール優勝/フランス



Vol.6 2016.2/23(火)
崎谷明弘
ハエン賞国際ピアノコンクール優勝/スペイン



真のヴィルトゥオーゾが、
理想的な仲間たちと名作を奏でる、贅沢な一夜。

Vadim Repin

ワディム・レーピン (ヴァイオリン)

with アレクサンドル・クニャーゼフ(チェロ)
& アンドレイ・コロベニコフ(ピアノ)

Photo: Gela Megrelidze

天才から巨匠へと進化するヴァイオリニスト、ワディム・レーピンが、
デュオの名曲とチャイコフスキーの大作トリオ「偉大な芸術家の思い出」を、
一公演で披露!!

天才から深化した稀有の芸術家

レーピンは、天才だった。11歳でリ
サイタルを行い、14歳でベルリンや東
京、15歳でカーネギー・ホールにデ
ビューした彼は、17歳でエリザベ
ト王妃国際コンクールに優勝して以
来、圧倒的な凄腕を披露。朗々と鳴
る音でいかなる難曲も余裕充分に
弾きこなす、皆を驚嘆させた。

そんな天才は、いま真の芸術家に
変貌した。日本では2004年、08
年のリサイタル、CDでは名門ドイ
ツ・グラモフォン移籍後に録音した
07年ベートーヴェンや08年ブラーム
ス等の名演で、進化を明らかにして
いった。豊富な音色と眩いばかりの
テクニックはそのままに、音楽の内側
に目を向け、深淵や行間を語るよう
になったのだ。天才少年から芸術家へ
の進化……これは稀有な例である。

以前インタビューした際に印象的
だったのは、協奏曲に関して彼が話
した「オーケストラの全パートを書
き出せるほど勉強している」と一言
だった。こうした努力、それにアルゲ
リッチ、キーン、バシユメットなど
数々の一流アーティストとの共演を
通して、一段の成長を遂げたといえ
るだろう。

個性的実力者たちと紡ぐ感動の大作

今年彼は43歳。もう若手ではない
が、ベテランと呼ぶには若い。今回、
次のステップ「巨匠へ向けた区切り
となるこの時期に、デュオとトリオ
の両形態を二公演で演奏する。これ
は貴重な機会というほかない。

デュオでは、ラヴェルの「ツイガー
ヌ」をはじめとする技巧的かつ親し
みやすい小品で深化を示す。トリオ
はさらに注目! 彼が日本でこの形
態を弾くのは、1999年以来15年
ぶりゆえに必聴だ。演目は、チャイコ
フスキーが恩人の死を悼んで綴った
感動必至の名作。レーピンは同曲を
2度録音し、2009年の最新盤で
は絶妙なバランスでこまやかな妙演
を紡いでいるから期待も大きい。共
演者も、力感と抒情性を併せ持つ
チェリスト、アレクサンドル・クニャー
ゼフ、無類の美音で繊細な表現を聴
かせるアンドレイ・コロベニコフと
いうロシアの実力派ソリストだけに
文句なし。

芸術家レーピンの今を異なる形
態で体感できるこの絶好機を、逃し
てはならない。

(柴田克彦)

[ヴァイオリン]ワディム・レーピン
[チェロ]アレクサンドル・クニャーゼフ
[ピアノ]アンドレイ・コロベニコフ

ラマニノフ 悲しみの三重奏曲第1番
ショーン・詩曲、ラヴェル「ツイガ
ヌ」チャイコフスキーピアノ三重奏曲「偉大な芸術家の思い出」ほか

2014.12.1(月)7:00PM(6:00PM 開場) 7/18(金) 優先
S 7,000円 A 5,000円 B 3,000円(全席指定) 7/19(土) 一般

[ご予約]ザシンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問い合わせ]JAMATI 03-3560-3010
[主催]JAMATI/ザシンフォニーホール



[アレクサンドル・クニャーゼフ(チェロ)] 力強く抒情的な演奏で
定評のある、現代ロシアを代表するチェロ奏者のひとり。モスクワ音楽
院でチェロとオルガンを学ぶ。ロシア国内はもちろん欧米、アジア諸国
のオーケストラと共演。室内楽にも情熱を注ぎ、モーツァルト、シューベ
ン、チャイコフスキーらと共演。ラヴェル・ショーン・詩曲の筆遣いでもあり、東京
だけでなく、びわ湖ホール、全沢などでも演奏を絶やさない。



[アンドレイ・コロベニコフ(ピアノ)] 1986年生まれ。モスクワ音
楽院を19歳で最優秀の成績で卒業。2004年、スクラーク・シン・国際コン
クール優勝。05年ラマニノフ国際でも2位及び最優秀賞を受賞。ロンド
ンのウィグモアホール、パリのルーヴル美術館でのリサイタルも絶賛を
博している。コロベニコフのピアノは繊細、透明で、まるで真珠を
転がすように粒が滑り美しい。クニャーゼフ、レーピンとも度々共演。

世界の憧れ“メルビッシュ湖上音楽祭”、史上初の海外公演、ガラコンサートで日本上陸!!

メルビッシュ湖上音楽祭 ガラコンサート



2005年メルビッシュ湖上音楽祭オペレッタ「メリー・ウィドウ」のステージ

【指揮】ルドルフ・ビーブル
【ソプラノ/音楽祭監督】ダグマー・シェレンベルガー
【ソプラノ】イーヴァ・シェレ
【テノール】アレクサンドル・バデア
【テノール】メルサド・モンタツェリ
【バレー】マルタ・カラツツニョーヴァ
【バレー】ウラジミール・スニチュク
【管弦楽】メルビッシュ祝祭管弦楽団

J.シュトラウスⅡ：オペレッタ「こうもり」より
オペレッタ「ウィーン気質」より
ワルツ「美しく青きドナウ」
F.レハール：オペレッタ「微笑みの国」より
オペレッタ「メリー・ウィドウ」より
E.カールマン：オペレッタ「伯爵家令嬢マリツァ」より

2014.10/3(金)7:00PM(6:00PM 開場)
前席 20,000円(音楽祭特製CD付) S 30,000円
A 11,000円 B 8,000円(税込)
7:30PM(後半券) 8,000円(空席がある場合のみ、
10日前よりプロアルテムジケにて受付)

【ご予約・お問い合わせ】
ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
プロアルテムジケ 03-3943-6677
【主催】プロアルテムジケ/ザ・シンフォニーホール

大作作曲家ハイドンが活躍した、オーストリアアイゼンシュタット近く、世界遺産としても名高い美しいノイジードル湖。湖上に設けられた幻想的なステージが夏を彩る。メルビッシュ湖上音楽祭は1957年に始まり、今や世界最大のオペレッタ・フェスティバルとして毎年約20万人の観客を楽しませる夏の一大イベントです。

スタート以来、半世紀の間メルビッシュの地から出るものなかつた、いわば「門外不出」のオペレッタの祭典が、初の引越し公演を決断。その栄えある時、場所として選ばれたのが、2015年の日本。今年はその2015年の記念すべきオペレッタ引越し公演に先駆け、音楽祭の面目をかけたガラコンサートです。

オペレッタのメッカ、メルビッシュより、半世紀以上に渡る門外不出の夢のステージが、世界初の引越しガラコンサートで日本を席巻!!

国際映画「ザ・テノール 真実の物語」全国一斉公開! 直前にその奇跡の歌声を生で!

奇跡のテノール「ペー・チェチョル」コンサート



ペー・チェチョル(敬称略)
ミラノ音楽院を卒業後、ヨーロッパの主要国際コンクールに次々と優勝を重ねる。貴重なリサイタルの声を聴き、たまたまに欧州主要歌劇場に招かれ「イルトロバトーレ」、「ルチア」、「リゴレット」、「ドン・カルロ」、「ラ・ボエーム」、「トスカ」等の主演を数回絶賛される。オペラ界の頂点に駆け上がるつもりでいた2005年甲狀腺がんにより声を完全に失うが、京都で声部機能回復手術を受け、2008年奇跡の舞台復帰を果たした。苦悩を越えた歌声が、各地で大きな感動を巻き起こしている。

「奇跡のテノール」ペー・チェチョルのコンサートが9月28日(日)に開催される。大阪では2年ぶりとなるこの公演は、彼の歩みを題材に日韓共同で製作された国際映画「ザ・テノール 真実の物語」が10月11日(土)から全国一斉公開になるのを記念して行われるものだ。前号でもお伝えした通り、がんが人間が声を発するために必要な全ての神経を切断しながら、世界でも例のない奇跡のカムバックを果たした彼の人生を描くこの映画。ペー・チェチョル役を韓国五大俳優の一人と称されるユ・ジテが、また彼を支える日本人プロデューサー役を伊勢谷友介が演じる。公開前からすでに評判となり、6月の上海国際映画祭から最も注目を集める作品が上映

聖路加国際病院名誉院長 日野原重明先生も「私の102年という人生で、歌を通してこれほど神様の存在を感じたことはありません」と絶賛!

【テノール】ペー・チェチョル【ピアノ】松崎充代
アメージング・グレイス他 讃美歌
カッチーニ：アベ・マリア
ビゼー：オペラ「真珠採り」から「耳残る君の歌声」
マイヤベーア：オペラ「アフリカの女」から「おお、バラダイス」ほか

2014.9/28(日)3:00PM A 5,000円 B 4,000円(税込)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【ご予約・お問い合わせ】エスピー・エース 06-6204-0412
【主催】ヴォイス・ファクトリー/ザ・シンフォニーホール

公開までに全国で試写も行われる予定だが、今回のコンサートはその奇跡の歌声に直接触れることのできる絶好のチャンスだ!



「ザ・テノール 真実の物語」は、10月11日(土)、全国一斉ロードショー。出演：ユ・ジテ、伊勢谷友介、チャ・イェリョン、北乃きい、丘みつこ他

辛口で知られる清水和音が絶賛するCFXで名曲を味わうコンサートが実現。

～秋の夜を包み込む、珠玉の名曲の数々～

清水和音 ピアノリサイタル

「昔からさまざまなヤマハピアノを弾いてきましたが、これまでは低音が鳴っていない、音の響きが弱いという面があったのは事実。でも、CFXは初めて弾いたとき、楽器全体が鳴るような感じがした。」

長年ヤマハのピアノを演奏し、楽器を知り尽くしている清水和音が、ザ・シンフォニーホールの楽器選定を行い、複数のヤマハコンサートグレードピアノ「CFX」を試弾して気に入った一台を選んだ。この楽器を使用して、10月9日にはリサイタルが行われる。

一気にクワイオリティがジャンプした感じ

ヤマハピアノを愛用し、新作誕生ことに試弾してきた清水和音。CFXの誕生で楽器が大きな変貌を遂げ、ほしい音が出せるようになったという。



「素直で、端的で、嘘がない。ヤマハピアノを愛するからこそ苦言を呈し、さらなる高みを目指してほしい」と正直な感想を述べてきた。それがCFXと出合い、自身の目指す音楽が自然に表現できることに心惹かれ、今回はその響きが存分に楽しめ

目指す音楽が自然に表現できる
それを考えて選曲



インタビューは清水氏が教壇を務める東京音楽大学キャンパスにて行われた。

【ピアノ】清水和音

ショパン：即興曲 第2番、第3番

ラヴェル：水の戯れ

ショパン：マズルカ 第26番、第37番、第35番

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ

ショパン：幻想曲 ヘ短調

スクリャーピン：ピアノ・ソナタ 第2番「幻想」

リスト：ペートルカの3つのソネット

スクリャーピン：ピアノ・ソナタ 第4番

2014. 10/9 (木) 7:00PM

S 4,500円 A 3,500円 B 2,500円(全席指定)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催お問い合わせ】株式会社ヤマハミュージックジャパン 06-6465-0151

る作品を組んだプログラムが生まれた。

「ショパンもラヴェルも長年愛用してきた作品。交互に並べることによる、聴衆も演奏する側も変化が楽しめるし、退屈しないと思ったわけ(笑)。ショパンはピアニストにとって非常に大切な作品だからぜひ入れたかったし、ほかにはラヴェルが大好きでね、特に両手のコンチェルトには魅了されている。おもしろいし、リズムの音楽だといえるし、遊び心をもって演奏できるから。ロニーティボー・コンクールのおときは、『夜のガスパール』を弾いたんですよ」

スクリャーピンの響きは初めての人でも楽しめる

重視する作品が選ばれているが、スクリャーピンこそ響きの美学が必要とされる作品である。

「ホールに納入されたばかりのピアノはまだ弾き込まれていないから、どんな響きが出るのか判断するのは難しいけど、スクリャーピンの第2番、第4番のソナタはともにかりやすく美しい曲。初めて聴く人も、きっと好きになってもらえると思いますよ」

今回は4台のCFXからもっともやわらかい響きをもつ楽器を選んだ。音が繊細で、これからいかにようにも変化していける可能性を秘めた楽器を。ザ・シンフォニーホールの響きがとても好きで、舞台でも弾きやすいと語る清水和音。珠玉の名曲の数々から、響きの美学を受け取りたい。

(伊藤よし子)

世界初!? 親子のためのオーケストラがこの夏、大阪デビュー!

Kracie presents 夏休み特別企画

ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団



ンフィルハーモニー管

【管弦楽】ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団

どんぐりころころ ~ オケにはまってさあ大変! ~

赤とんぼ協奏曲

木管おゆうぎ

オー・ラ・リー (アメリカ民謡)

やぎさん協奏曲

南の島のハメハメハ

リパブリック賛歌 (アメリカ民謡)

ブルーオーシャン・ラブソング ~ 海のメロデー

2014. 8/30 (土) 3:00PM

S 4,500円 A 3,500円 B 2,500円 (税込・全席指定)

※3歳以上の方はチケットが必要です (大人ひとりにつき3歳未満ひとり上無料)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催・お問い合わせ】クラシック名古屋 052-678-5310

【特別協賛】Kracie

この夏、子供たちに大人気の動物たちのオーケストラ、ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団が、いよいよ大阪デビューを果たす。

世界初の「親子のためのオーケストラ」を謳うズーラシアンフィル。その出発点は2000年に誕生したズーラシアンプラスだ。子供たちの感性を豊かに育むことを目指してスタートしたズーラシアンプラスは、ファミリー層からの絶大な支持を獲得し、現在では年間のコンサートが130本を超える人気ぶりを誇る。そのズーラシアンプラスが一段とパワーアップしてオーケストラを結成して、ズーラシアンフィルハーモニー管

弦楽団が誕生した。

プログラムの中心となるのは、オリジナルアレンジによる「シンフォニック童謡」。「どんぐりころころ」や「南の島のハメハメハ」など、子供たちの大好きな童謡がシンフォニックなサウンドで生まれかわる。

まじめでしっかり者の指揮者オカビ、孤高のトランペッターのインドライオン、お調子者のトロンボーンのスマトラトラ、弦楽器セクシヨンのうさぎたちなど、多士済々の動物たちがひとつになつて音楽を奏でる。子供と一緒に音楽を楽しめる、夏休みならではのコンサートになりそう。

(飯尾洋二)

子供たちに大人気のズーラシアンプラスがオーケストラにパワーアップ! おなじみの童謡をシンフォニックなサウンドで



外山雄三

平日の仕事帰り、仲間と食事に行く前に、ちょっとクラシックでもいかがですか?

大阪フィル × ザ・シンフォニーホール

〈ソワレ・シンフォニー〉 Vol.3



時間的にも料金的にも、もっと手軽に本格的なクラシック音楽を楽しみたい! そんなお客さまの声に応える形で生まれた「ソワレ・シンフォニー」。大阪フィルとザ・シンフォニーホールの共催公演企画3回目は、指揮者に巨匠・外山雄三を迎え、チャイコフスキーの交響曲第一番「冬の日の幻想」をメインに、バラエティに富んだプログラムでお贈りします。

このシリーズは今シーズンからの新たな企画ということもあり、全4回すべて作曲家の第一交響曲を取り上げますが、外山雄三が指揮するのは、チャイコフスキーの交響曲第一番。抒情的なメロディ溢れる魅力的な作品ですが、第4番以降の後期交響曲に比べ演奏機会はそう多くあ

間演はいつもより少し遅めの7時半、本格的なシンフォニーをお手頃価格でお聴きいただく60分コンサート、それが人気の「ソワレ・シンフォニー」。

りません。作曲家の顔も持つ外山雄三が、稀代のメロディーメーカー、チャイコフスキーの最初の交響曲をどのように指揮するのか、興味は尽きません。

他にもチャイコフスキーのバレエ組曲「白鳥の湖」より人気の曲を3曲と、作曲家・外山雄三の最近の作品「前奏曲」(2012)を自ら指揮するのも今回の見どころのひとつです。久しぶりに大阪フィルを指揮する外山雄三が引き出す大フィル伝統のサウンドが、残響2秒のザ・シンフォニーホールに鳴り響きます。チケットはどの席も一律3,500円とお求めやすくなっております。「ソワレ・シンフォニー Vol.3」に期待ください。

【指揮】外山雄三

【管弦楽】大阪フィルハーモニー交響楽団

外山雄三: 前奏曲 (2012)

チャイコフスキー: バレエ組曲「白鳥の湖」より「情景」

「四羽の白鳥」 「チャルダッシュ」

交響曲 第1番 短調

op.13「冬の日の幻想」

2014. 10/15 (水) 7:30PM

均一指定 3,500円 (税込)

【ご予約・お問い合わせ】

大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

7/22(火) 発売

ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

7/23(水) 発売

【主催】

公益社団法人大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール

ザ・シンフォニーホールで聴く狂熱な響き!サン＝サーンスの交響曲第3番「オルガン付」

大阪交響楽団 第82回名曲コンサート“真夏のオルガン!”



【指揮】シズオ・Z・クワハラ
【ヴァイオリン】シャンドル・ヤボルカイ
【独奏】大阪交響楽団

ベルリオーズ：序曲「ローマの謝肉祭」op.9
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 第二編 op.35
サン＝サーンス：交響曲 第3番
ハ短調「オルガン付」op.78

2014.8/23(土) 1:30PM/5:00PM

S 3,000円(夜の部) A 2,500円(昼の部・夜の部とも) (税込)

【ご予約・お問い合わせ】大阪交響楽団 072-226-5522

(シズオ・Z・クワハラ)

大阪交響楽団と素晴らしいプログラムで共演することになって、とてもワクワクしている。サン＝サーンスの交響曲第3番「オルガン付き」はシンフォニーホールの素晴らしいオルガンを使用して演奏する。以前このホールでオーケストラの演奏を聴く機会があり、その深い音響と、オルガンの豪華なサウンドに驚いただけに、今回はまさに必聴だ。

また、サン＝サーンスと同じフランス人作曲家、ベルリオーズの「ローマの謝肉祭」序曲でも素晴らしい響きを奏しむことができるだろう(ベルリオーズは大好き)。

さらに、共演するシャンドル・ヤボルカイ(ヴァイオリン)は、チャイコフスキーの爽快なヴァイオリン協奏曲を演奏するにはまさにピッタリの素晴らしい演奏家。

大阪交響楽団の素晴らしいメンバーとシンフォニーホールで共演できるのは本当に幸せである。ご来場お待ちしております!

「指揮者 シズオ・Z・クワハラ氏より、メッセージが聞きました」



既存のジャンルを超えた「未来形クラシック」いよいよ開幕!

ネオ・クラシック CLASSIC X JAZZ

~Summer JAZZ Night on the theme of CLASSIC~

【ピアノ】タカコ・イネス・アサヒナ
【ドラム】マーティン・ブレイシー
【バス】トーマス・ボズナー
【パーカッション】オルトグン
ピアノ・リベルタンゴ
R.ロジャース：私のお気に入り、NY版

映画「サウンド・オブ・ミュージック」より ほか

2014.8/24(日) 6:00PM (5:00PM 開場)

全席(チケット・券付) 10,000円 S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円(税込)

※バーディー 3,000円(2ドリンク・軽食付き) ※終演後にホールホワイエにて出典者を認むバーディーを予定しております。※バーディー券はザ・シンフォニー チケットセンター、エスビー・エースのみでの取扱いとなります。※バーディー券のみの購入は出来ません。

【ご予約・お問い合わせ】

ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

エスビー・エース 06-6204-0412

【主催】Neo Classic ソサエティ/ザ・シンフォニーホール

「クラシックの殿堂」にジャズの躍動的なサウンドが響き渡る今までにないライブ・コンサートが大きな反響を呼んでいる。ピアノ、ベース、ドラム(パーカッション)で構成されるバンドはそれぞれのプレイヤーが高い技術力を遺憾なく披露、互いの音で刺激しあうかのようにヒートアップしていく熱演は必見!プログラムは、バンドのリーダー、ピアニスト、また作曲家である朝比奈隆子のアレンジによりリズムミカルで情熱的に生まれ変わったクラシックの名曲達。モーツァルトの「レクイエム」はクラブミュージック風、官能的なラヴェルの「ボレロ」は、パーカッションを加えてより本能的なアフリカンダンス風。一匹の熊蜂がドラム、ベースを借りて大軍となる「熊蜂の飛行」、現代の都会に生きる強い女性を描いた「私のお気に入り」など、すべての曲には洗練されたモダンな感覚が融合している。最高の音響環境の中、彼女たちの奏でるダイナミックで情熱的なサウンドを肌で感じる、刺激的な真夏のステージを見逃せない!

50th Anniversary

日本のトップを走り続ける尼崎市吹奏楽団がザ・シンフォニーホールに登場!

尼崎市吹奏楽団 創立50周年記念演奏会「特別演奏会」



【指揮】辻井清幸、木村吉宏、喜多弘悦
【吹奏楽】尼崎市吹奏楽団

カプリエル・パレス：「リシルド」序曲
レスピーギ：交響詩「ローマの松」 ほか

2014.9/21(日) 2:00PM 2,000円(全席自由)

【ご予約・お問い合わせ】

尼崎市吹奏楽団事務局 06-6487-0910

【主催】尼崎市吹奏楽団、公益財団法人尼崎市総合文化センター

創立50周年の尼崎市吹奏楽団は昭和39年、日本クラシック界の父ともいわれる故朝比奈隆氏の指導の下、オーディションで選ばれた団員により結成された。以来、29回に渡る全日本吹奏楽コンクールへの出場、ヨーロッパ遠征、オランダ・メルクルールでの世界音楽祭、及びシドニー・オペラハウス国際音楽祭での金賞受賞等、その輝かしい歴史はもはやアマチュアバンドの域を超え、日本吹奏楽会の牽引役として文化の一角を担ってきたと言っても過言ではない。

この秋、楽団を50年間支えてきた、辻井清幸(大阪音楽大学名誉教授、ザ・シンフォニーホール館長)が80名を超える団員と共にザ・シンフォニーホールの舞台上に上がる。当日は共に楽団を支えた木村吉宏(元大阪音楽楽団団長)そして現在楽団を指導する喜多弘悦(ザ・シンフォニーホール音楽総監督)がタクトを繋ぎ、吹奏楽オリジナル曲から、クラシック曲まで幅広いレパートリーを披露する。吹奏楽ファン必見のこのコンサート、50周年熟成された尼吹サウンドを堪能したい。

嵐を呼ぶマエストロ=ゲルギエフ登場! 濃密、多彩な“音の饗宴”の幕が開く!

ワレリー・ゲルギエフ指揮 マリンスキー歌劇場管弦楽団



ウィーン・フィルやベルリン・フィル、ロンドン響からMETに至るまで、世界第一級のフィルで破竹の勢いを続ける巨匠ワレリー・ゲルギエフが、彼にとって「家族」であり「自身の最も大切なライフワーク」とも位置付けるマリンスキー歌劇場の管弦楽団と共に、この秋2年ぶりに来日を果たす。同じ曲目が続けず、常に新しいプログラムを披露することをモットーに、1993年のマリンスキー管(当時はキエフ歌劇場管)とのザ・シンフォニー・ホール初公演以来、チャイコフスキーやショスタコーヴィチ、ストラヴィンスキーと、数々のロシア音楽を演奏してきたこのコンビが、今回初めてマラーの作品を、しかも「第5番」という屈指の名曲を披露することになる。なんと、今回

今ツアー大阪公演のみ披露のマラー「交響曲第5番」で爆演の予感!!

【指揮】ワレリー・ゲルギエフ
【管弦楽】マリンスキー歌劇場管弦楽団

ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」(1945年版)
マラー:交響曲 第5番 変ハ短調

2014.10/11(土)2:00PM

A 20,000円 B 17,000円(税込)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

【主催】朝日放送

のツアーで、この曲が披露されるのは大阪だけ!!ゲルギエフのお家芸ともいえる「火の鳥」とのカップリングともなれば、音楽ファンであれば垂涎もののプログラムといえるだろう。

いまや、世界トップレベルとなったにもかかわらず、常に新しい側面を見せたいという意欲的なマエストロのもと、より俊敏かつ機動力のあるオーケストラへと深化を続けるゲルギエフ&マリンスキー管。日本の芸術・文化をこよなく愛し、ザ・シンフォニー・ホールへの想いも格別なものがあると聞く。ゲルギエフの嵐を呼ぶ爆演サウンドが、ホールに響き渡るのが待ち遠しい。

巨匠メータと世界一の弦! 名門楽団の豊かな個性を味わい、芳醇な響きの世界へ!

ズービン・メータ指揮 イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団



半世紀以上も続く固い絆で結ばれた最強コンビ、ズービン・メータ率いるイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団が、4年ぶりに来日!!

ベルリン・フィル、ウィーン・フィルなど名高いオーケストラにさえグローバル化の波が及ぶクラシック界でも、輝かしい個性を放ち続けるイスラエル・フィル。特に弦楽セクションは、世界一の弦」と称賛され、魅惑的な独特の音色の伝統を今に受け継いでいます。世界的に見ても稀有なほどに巨匠メータとの信頼関係も厚く、1961年、当時25歳ながら急病の指揮者の代役に抜擢されて初共演を果たして以来共演を重ね、1981年からは終身音楽監督として、中東情勢の困難な政治状況の中でも、指揮台に登り続けました。

来日公演では、初となるチャイコフスキーを披露!!

【指揮】ズービン・メータ
【管弦楽】イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

ヴィヴァルディ:合奏協奏曲集「調和の靈感」op.3 第4番 RV550

モーツァルト:交響曲 第36番 変調「リッツ」K.425

チャイコフスキー:交響曲 第5番 変ハ短調 op.64

2014.11/1(土)7:00PM A 23,000円 B 19,000円(税込)

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

【主催】朝日放送

ルティ、モーツァルトの他、メイン・プロにチャイコフスキーの傑作「交響曲第5番」を演奏!長年の来日実績の中で、意外にもチャイコフスキーの演奏は今回が初めて!ロシア系の演奏家が多いといわれるイスラエル・フィルの魂の響きと、オペラや交響曲で圧倒的カリスマを魅せるメータが削り上げるチャイコフスキーで、いったいどんな音楽が生まれるのでしょうか?「第5番」のクライマックスを、ドラマティックながらも流麗な音楽へと紡ぎ上げる至高の演奏には期待をせずにはいられません。世界最高のオーケストラ芸術に触れる極上のひとときをぜひお聴き逃しなく!